

危険区域に上肢が到達することを防止するための安全距離 (JIS B 9707 : 2002)

3歳から14歳未満の人の定形開口部に関する安全距離					14歳以上の人の腕の動作範囲			
単位 mm					単位 mm			
身体の部分	図示	開口部	安全距離sr			動作の制限	安全距離sr	図示
			長方形	正方形	円形			
指先		$e \leq 4$	≥ 2	≥ 2	≥ 2	肩及びわき(脇)の下においてだけの動作の制限	≥ 850	
		$4 < e \leq 6$	≥ 20	≥ 10	≥ 10			
指の関節までの指又は手		$6 < e \leq 8$	≥ 40	≥ 30	≥ 20	ひじ(肘)まで支えられる腕	≥ 550	
		$8 < e \leq 10$	≥ 80	≥ 60	≥ 60			
		$10 < e \leq 12$	≥ 100	≥ 80	≥ 80	手首まで支えられる腕	≥ 230	
		$12 < e \leq 20$	$\geq 900^{*1}$	≥ 120	≥ 120			
肩の基点までの腕		$20 < e \leq 30$	≥ 900	≥ 550	≥ 120	指の関節まで支えられる腕及び手	≥ 130	
		$30 < e \leq 100$	≥ 900	≥ 900	≥ 900			

※1) 長方形開口部の長さが40mm以下なら、親指はストッパーとして働くので、安全距離は120mmまで減らすことができる。

Aは腕の動作の範囲
 ※1) これは円形開口部の直径、又は正方形開口部の辺、若しくは長方形開口部の幅を示す。

14歳以上の人の定形開口部に関する安全距離

危険区域に下肢が到達することを防止するための安全距離 (JIS B 9708 : 2002)

単位 mm					単位 mm					
身体の部分	図示	開口部	安全距離sr			下肢の部分	図示	開口部	安全距離sr	
			長方形	正方形	円形				長方形	正方形又は円形
指先		$e \leq 4$	≥ 2	≥ 2	≥ 2	つま先		$e \leq 5$	0	0
		$4 < e \leq 6$	≥ 10	≥ 5	≥ 5	足指		$5 < e \leq 15$	≥ 10	0
指の関節までの指又は手		$6 < e \leq 8$	≥ 20	≥ 15	≥ 5	足		$35 < e \leq 60$	≥ 180	≥ 80
		$8 < e \leq 10$	≥ 80	≥ 25	≥ 20			$60 < e \leq 80$	$\geq 650^{*2}$	≥ 180
		$10 < e \leq 12$	≥ 100	≥ 80	≥ 80	脚[つま先からひざ(膝)まで]		$80 < e \leq 95$	$\geq 1\ 100^{*3}$	$\geq 650^{*2}$
		$12 < e \leq 20$	≥ 120	≥ 120	≥ 120			$95 < e \leq 180$	$\geq 1\ 100^{*3}$	$\geq 1\ 100^{*3}$
		$20 < e \leq 30$	$\geq 850^{*1}$	≥ 120	≥ 120					
肩の基点までの腕		$30 < e \leq 40$	≥ 850	≥ 200	≥ 120	脚[つま先からまた(股)まで]		$180 < e \leq 240$	許容不可能	$\geq 1\ 100^{*3}$
		$40 < e \leq 120$	≥ 850	≥ 850	≥ 850					

※1) 長方形開口部の長さが65mm以下なら、親指はストッパーとして働くので、安全距離は200mmまで減らすことができる。

※1) 長方形開口部の長さが ≤ 75 mmのとき、距離は50mmまで低減可能である。
 ※2) 値は脚(つま先からひざまで)に一致する。
 ※3) 値は脚(つま先からまたまで)に一致する。